

重点施策 1 防災・減災対策

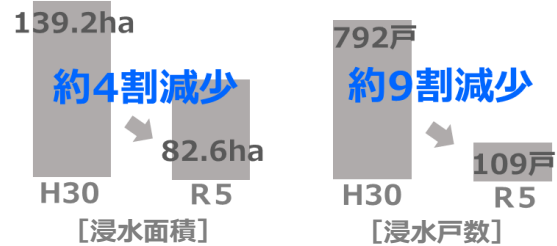
01 | 防災・減災対策の現状

最優先課題の浸水対策

令和4・5年度予算で約**100**億円を重点配分
[貯留機能] R3以前：32万^m → R5：84万^m
[排水機能] R3以前：217^m/S → R5：238^m/S

総合内水対策計画で取り組んだ地域の効果例

○下弓削川流域



○金丸川流域



災害時の備え

災害時に備えた計画的な**備蓄品の確保**
災害協定等による支援体制の充実

備蓄の状況



避難想定 11,000人
水縄断層を震源とした場合の想定
最大避難者数



市備蓄品
食料品：米・パン、水、粉ミルク等
生活品：毛布、マット、携帯トイレ
おむつ、生理用品等



市備蓄以外の備え
流通備蓄・災害協定（約100団体）
家庭内備蓄での対応

災害対応の迅速化

災害時にリアルタイム、**プッシュ**型、
地域と協働による**迅速**な**対応**

災害対応の状況



防災チャットボット
LINEを活用した被害状況の
リアルタイムでの把握・発信



り災証明のためのエリア調査
被災者からの申請を待つこと
なく浸水エリアをプッシュ型で
調査



地域との協働による避難所運営
地域と協働した速やかな避難所
開設

R6方針

令和5年7月の豪雨や令和6年能登半島地震を踏まえ、避難所環境の充実を図るとともに、国県等と連携したインフラ整備や災害発生を想定した対応を強化し、災害に対応した強靱な地域づくりを進めます。

重点施策 1 防災・減災対策

02 | R 6 取組のポイント

Point①

流域治水の総合的な対策を進め、**災害に強い**地域づくり

Point②

研修や避難所環境を充実し、**安心して避難**できる環境を整備

Point③

災害発生時の対応を強化・迅速化し、**生活再建のスピードアップ**



① 浸水・減災対策の推進

▶ 浸水・土砂災害への対策

【拡】 国・県と連携した流域治水の推進

- ・ 貯留施設、雨水幹線、ポンプ設備等の整備
- ・ 排水路改良、護岸かさ上げ 等

【拡】 危険木伐採による森林防災対策

▶ 協働による治水対策

【拡】 田んぼダムの拡充

- ・ 34地区 385.8ha

【拡】 みんなで流域治水！の実施

- ・ 8か所800名規模のボランティア参加

【継】 クリークの先行排水、ため池の低水位管理

災害に対応した
強靱な地域づくり

② 研修・避難所環境の充実

▶ 土砂災害を想定した研修・訓練の実施

- 【新】 土砂災害の恐れがある地域への研修会
- 【継】 総合防災訓練の実施

▶ 避難所環境の充実

- 【拡】 備蓄品の更新・充実（IAマツ新規購入等）
公共施設への太陽光発電設備等の導入
- ・ 脱炭素化推進の一環として、避難所機能を有する
公共施設等の一部に太陽光発電設備・蓄電池を導入

③ 災害時対応の強化・迅速化

▶ 災害状況把握の強化

- 【新】 公開型GISの構築
- 【継】 防災チャットボットの運用

▶ 被災者支援の迅速化

- 【新】 被災者生活再建支援システムの導入

▶ 災害ごみ対応の円滑化

- 【新】 一次仮置場候補地の改修（5か所）

重点施策2 少子化・人口減少対策

01 | 人口動向の現状

R4・R5 主な新規・拡充の取組

R5予算から**少子化・人口減少**対策を重点課題に設定し、取組を拡充

結婚希望の応援

- ▶ 結婚新生活支援補助金
- ▶ 結婚支援セミナー・出会いイベント

出産・子育ての負担軽減

- ▶ 子ども医療費助成の拡充
- ▶ 妊娠判定受診料助成

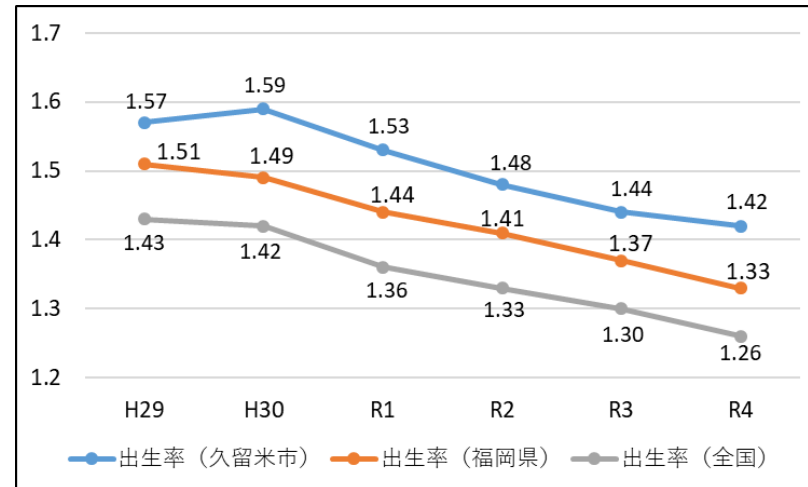
創業・就職の支援

- ▶ 創業人材育成プログラム事業
- ▶ 地元企業の魅力SNS発信

合計特殊出生率

合計特殊出生率はR4で**1.42**
R1以降は減少傾向が継続

－ 合計特殊出生率の推移 －



若い世代層の転出状況

R4年度の日本人の転入・転出の状況では、男女ともに**20代**の**転出**傾向が顕著

－ 年齢別転入・転出の推移 －

(単位:人)

性別	R2	R3	R4	R4日本人
男性				
0-4歳	△11	△26	△15	△25
5-9歳	26	22	△1	△10
10-14歳	△23	4	22	17
15-19歳	65	△6	96	44
20-24歳	△107	△348	164	△95
25-29歳	△57	△206	64	△26
30-34歳	83	△87	44	△8
35-39歳	55	△2	26	7
40-44歳	△17	△17	10	7
45-49歳	54	72	50	50
50-54歳	43	38	18	18
55-59歳	10	10	9	6
60-64歳	35	23	22	20
65-69歳	2	9	19	18
70歳超	52	44	51	50
女性				
0-4歳	72	△102	5	△3
5-9歳	△14	△35	30	23
10-14歳	16	20	16	8
15-19歳	47	△30	83	24
20-24歳	△84	△97	183	△76
25-29歳	△94	△181	110	△76
30-34歳	21	△52	92	△15
35-39歳	△27	△23	69	31
40-44歳	17	15	17	9
45-49歳	2	27	45	40
50-54歳	8	△1	13	13
55-59歳	△11	23	10	1
60-64歳	△1	23	4	△1
65-69歳	3	13	14	12
70歳超	67	36	1	△2

R6方針

加速する少子化・人口減少をできる限り抑制するため、若い世代に魅力的な働く場と充実した子育て・教育環境の整備を進め、若い世代から選ばれるまちを実現します。

02 | R6取組のポイント



Point①

子育てを**多方面**から**サポート**し、安心の子育てを実現

Point②

若い世代の仕事と生活の希望を応援し、**久留米定着**を促進

①多方面からの子育てサポート

▶子育ての不安・負担を軽減

【新】 保育所でのおむつ処分を支援

【新】 家事・育児訪問支援

【継】 子ども医療費の助成

- ・ 未就学児の通院・入院
- ・ 小中学生の入院

無償化

【継】 産後ケアの充実

- ・ 母子への心身のケアや育児サポート

▶子どもとの時間を楽しく

【新】 津福公園への大型遊具設置

▶安全・安心の教育環境

【拡】 中学校 全教室への空調完備

【拡】 外国人等児童生徒の学びを支援

若い世代から
選ばれるまち

②若い世代の希望を応援

▶久留米での仕事を応援

【拡】 スタートアップ支援拠点の機能拡充
・ 創業ロケットに支援専門員を配置

【新】 久留米で正社員就職を応援
・ 無業者・非正規労働者の市内就職を支援

【新】 民間企業主催の合同会社説明会への
出展支援

【拡】 地元企業のPR動画発信などを支援

【新】 保育士職場の魅力発信
・ 出前授業、保育施設見学ツアー

▶健康や生活の希望を応援

【新】 若い男女に向けたプレコンプレッションケアの推進
・ 将来の妊娠のための健康管理支援

【新】 両立支援促進のための助成金
・ 男性の育休取得促進など

重点施策3 地域社会経済の活性化

01 | 地域経済の現状

R4・R5 主な新規・拡充の取組

新型コロナや物価高騰による地域への影響を踏まえた支援を実施

地域産業の成長応援

- ▶ 商業活性化・出店の促進
- ▶ 販路開拓促進（キッチンカー導入支援）
- ▶ 6次産業化の支援

にぎわいと魅力の創出

- ▶ 大規模イベントの再開
- ▶ Park-PFIの導入（中央公園）

都市基盤の整備

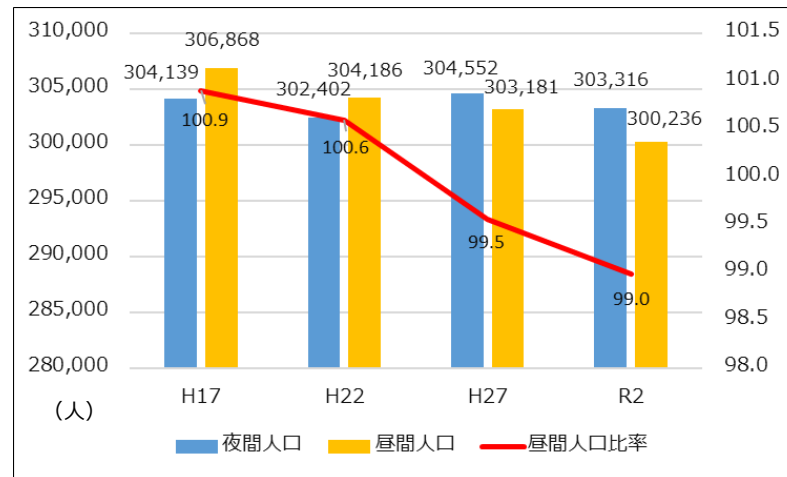
- ▶ 環状道路の整備推進
- ▶ 中心市街地再整備（JR久留米駅前）

R6方針

事業者の生産性向上・成長促進による産業の付加価値の向上や訪れたい魅力・楽しみの創出に取り組むとともに、そのベースとなる都市基盤の整備を進め、活力にあふれたまちを実現します。

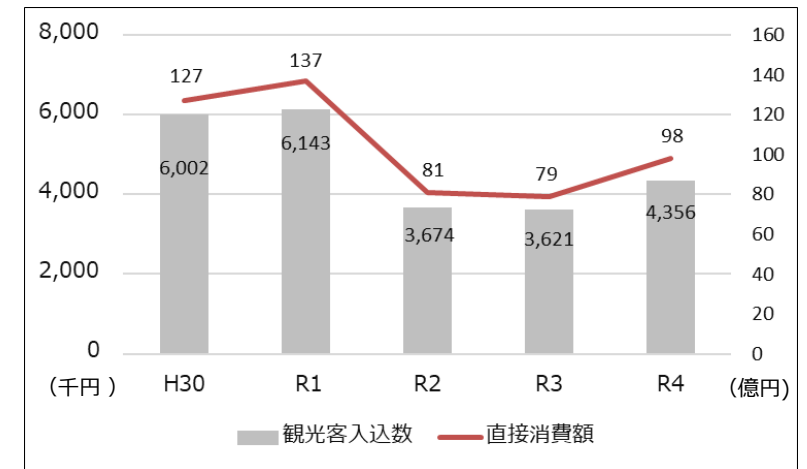
昼夜間人口の比率

都市としての求心力を示す昼夜間人口比率（夜間人口に対する昼間人口の比率）が**99.0**と減少傾向



観光入込客数／観光消費額

コロナ禍で落ち込んだ観光関連はR4で回復傾向
観光入込客数 **435**万人 観光消費額 **98**億円



重点施策3 地域社会経済の活性化

02 | R6取組のポイント



Point①

企業の集積や成長を促し、活力ある地域**産業を振興**

Point②

新たな魅力と楽しみを付加し、人々の**交流**とまちの**にぎわい**を創出

Point③

都市の骨格・基盤を整備し、**都市機能**や**拠点性**を維持・強化

①地域産業の振興

▶産業の集積促進

- 【新】産業団地の検討
- 【継】バイオ産業の拠点化
 - ・福岡バイオコミュニティの推進

▶地域産業の成長支援

- 【新】6次産業化支援・農商工連携
 - ・スタートアップ・チャレンジ支援
- 【拡】販路開拓の促進
 - ・キッチンカー導入支援
- 【拡】企業のDX促進
- 【継】新産業・新技術支援
 - ・宇宙関連産業への支援



②魅力と楽しみの創出

- 【新】新たなにぎわい創出支援
 - ・大規模イベント、新たな観光誘客チャレンジ支援
- 【新】ウェブ・SNSと連携したインバウンド促進
- 【新】農畜産物販売促進イベント開催（BBQなど）
- 【新】百年公園などへの民間活力導入検討
 - 筑後川河川敷（合川など）の活用検討
- 【新】観るスポーツの推進

③都市基盤の整備

▶拠点性の維持・強化（道路網）

- 【新】スマートIC整備の検討
- 【継】幹線道路の整備

▶拠点性の維持・強化（駅周辺）

- 【拡】宮の陣駅周辺整備の検討
- 【継】JR久留米駅前第二街区再開発
- 【継】大善寺駅西口交通広場整備

重点施策4 デジタル化・DXの推進

01 | デジタル化の現状

国ではデジタル田園都市国家構想を推進
久留米市においてもデジタル化・DXを各分野で推進



社会課題の解決



市民の利便性向上



▶教育分野

GIGA（ギガ）スクール
児童生徒1人1台の端末を活用



▶健康分野

健康のびのびポイント
健康アプリで健康づくり・管理



▶市民生活分野

電子図書館
令和6年3月から電子書籍の貸出開始



▶地域分野（校区コミュニティ組織）

ICTを活用したまちづくり
ICTの環境整備やスキルアップへの支援



▶交通分野

MaaS（マース）※実証実験中
移動検索・予約・決済の一括サービス



▶防災分野

防災チャットボット
被害情報をリアルタイムで共有



▶産業分野

中小企業・農業分野のデジタル化・DX
デジタル化・DX導入の支援



▶情報分野

市公式LINE
関心のある分野の情報をお届け

R6方針

住民サービスの効率性・利便性の向上、社会課題の解決に向けて、行政サービスや各分野のデジタル化・DXなどを進め、誰もが便利で快適なまちを実現します。

重点施策4 デジタル化・DXの推進

02 | R6取組のポイント

Point①

各分野でさらにデジタル化・DXを促進し、地域社会を**スマート化**

Point②

市役所のデジタル化・DXを推進し、市民の**利便性を向上**



①地域社会のデジタル化・DXの促進

▶情報発信の充実

- 【新】デジタルサイネージによる情報発信
・シティプラザ、JR久留米駅、西鉄久留米駅、道の駅、えーるピア、大型商業施設
- 【新】SNSによる魅力発信の充実

▶産業分野のデジタル化・DX

- 【新】スマート農業機械運転支援システム実証
- 【拡】企業のDX促進（再掲）

▶教育分野のデジタル化・DX

- 【新】中学校でのデジタル採点ソフト導入

▶防災分野のデジタル化・DX

- 【新】被災者生活再建支援システムの導入（再掲）
- 【継】防災チャットボットの運用（再掲）

誰もが便利で
快適なまち

②バーチャル市役所の推進

▶行かなくていい市役所の推進

- 【新】公開型GISの構築（再掲）
- 【新】電子契約の導入
- 【拡】公共施設オンライン予約の拡充
- 【継】AIチャットボットの運用

▶業務の効率化

- 【新】文書生成AI導入
- 【継】RPA・AI-OCRの活用
- 【継】テレワーク、Web会議の活用